



<金融機関>

現在取引のある金融機関は「国内都市銀行」86.4%
 金融機関を選んだ理由は「家族のすすめ」31.9%

首都圏のOLに現在取引のある金融機関を聞いてみたところ、「国内都市銀行」86.4%が最も多く、次いで「郵便局」69.3%、「ネット銀行」25.9%と続く。(グラフ)

現在取引している金融機関を選んだ理由を聞いてみると、「家族のすすめ」が31.9%と最も多く、次いで「インターネットの情報を見て」19.4%、「仕事上でつきあいがある」19.0%、「友人・知人のすすめ」16.8%となった。(グラフ)

金融機関に「こんなサービスがあったら」「こういうところが不便」など望むものをキーワードからカウントしてみると、1位は「手数料が高い(40票)」、2位「時間外窓口が欲しい(33票)」、3位「不便(24票)」、以下「コンビニATMを増やしてほしい(20票)」「オンラインサービスで便利にしてほしい(16票)」が挙げられた。

<金融商品>

興味のある金融商品は「株式」28.6%
 金融関連の情報入手先は「インターネット」62.1%

現在持っている金融商品は、「普通預金(銀行)」が96.6%と圧倒的。次いで「普通貯金(郵便局)」が57.3%、「定期預金(銀行)」48.8%、「定期貯金(郵便局)」39.3%。(グラフ)

興味のある金融商品について聞いてみると、「株式」が28.6%と最も多く、次いで「外貨預金」27.1%、「株式ミニ株」23.7%、「定期預金(銀行)」22.2%、「ファンド(投資信託)」21.6%の順。(グラフ)

金融関連の情報入手先については、「インターネット」が62.1%と圧倒的に多く、次いで「金融機関の店頭」34.6%、「新聞」30.6%、「テレビ」24.2%が挙げられた。(グラフ)

<回答者プロフィール>

年齢：24歳以下3.6%、25～29歳35.4%、30～34歳41.1%、35歳以上19.8%。平均年齢31.0歳。居住地：東京都60.7%、埼玉県14.1%、神奈川県14.1%、千葉県11.1%。未婚：未婚73.9%、既婚26.1%。暮らし：親と同居41.6%、1人暮らし25.8%、夫婦2人暮らし18.2%、夫婦と子供7.3%、その他7.0%。職種：事務系79.9%、専門・技術系9.7%、営業系6.4%、販売・サービス系2.1%、その他1.8%。雇用形態：正社員70.8%、派遣社員19.5%、嘱託・契約社員5.8%、パート・アルバイト2.4%、その他1.5%。

<調査実施>シティリビング

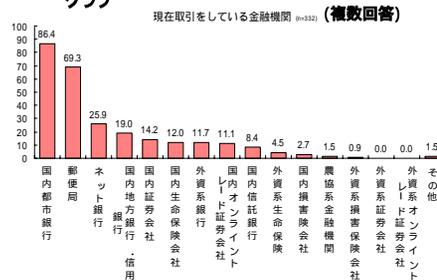
シティリビング オフィスで働く女性のための情報紙。一流企業で働くOLとのコミュニケーションを最も効率よく実現するためのマルチアプローチを展開しています。
 (シティリビングについて詳しくは <http://cityliving.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

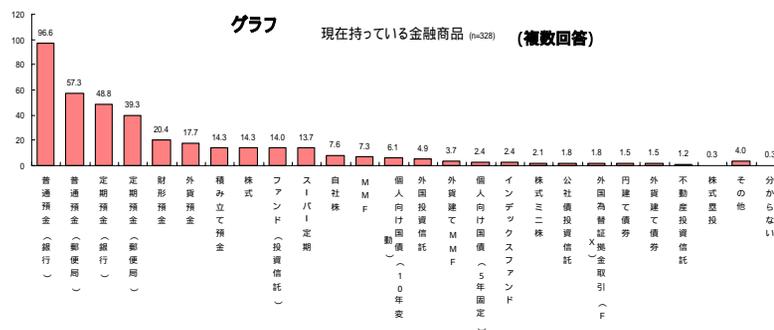
グラフ



グラフ



グラフ



グラフ



グラフ

